

千早赤阪村くすのきホール等ESCO事業の選定結果について

千早赤阪村ESCO提案審査会における審議の結果、下記のとおり最優秀提案者が選定されました。今後、最優秀提案者と本村の間で、事業実施に向け詳細協議を進めていきます。

記

1. 最優秀提案者：

大和エネルギー株式会社(代表企業)、大和ハウス工業株式会社

2. 審査講評(概要)：

本ESCO事業は、くすのきホールをはじめとした6施設を対象に提案公募を行ったものであり、3事業者より公募条件を大きく上回る省エネルギー効果のご提案がありました。

大和エネルギー株式会社、大和ハウス工業株式会社のグループの提案は、既設照明のLED化や空調設備の更新に加え、太陽光パネルを積極的に設置し、空調設備にトップランナー機器*を採用して人感センサー、床温度センサーを駆使した省エネ性の実現、BEMS*によるエネルギー情報管理等の提案により、6施設平均で30%を超える省エネルギー率を実現し、村民等への啓発にも寄与する、千早赤阪村にとって非常に有益なご提案でした。

また、東芝エレベータ株式会社の提案は、既設照明のLED化や空調設備の更新に加え、節水栓を導入した水道代の節減、照明のLED化にあたっては人感センサー、あかりセンサーを導入し非常に高い省エネ性を実現するというものでありましたが、前者には及びませんでした。

事前に公表している審査要領及び募集要項に基づき審査を行った結果、大和エネルギー株式会社、大和ハウス工業株式会社のグループを最優秀提案者とし、東芝エレベータ株式会社を優秀提案者といたしました。

最後に、多大なるご労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者の皆様に、あらためてお礼申し上げます。

※ESCO事業：Energy Service Companyの略で、民間のノウハウを活用して施設の省エネ診断、改修から維持管理までを包括的に行う事業手法の一つ。

※トップランナー機器：主として「現在最も省エネ性能が優れている機器」を指す。

※BEMS：Building Energy Management Systemの略で、建物のエネルギー全般を管理するシステムを指す。